



月刊

# ポケットあわじ

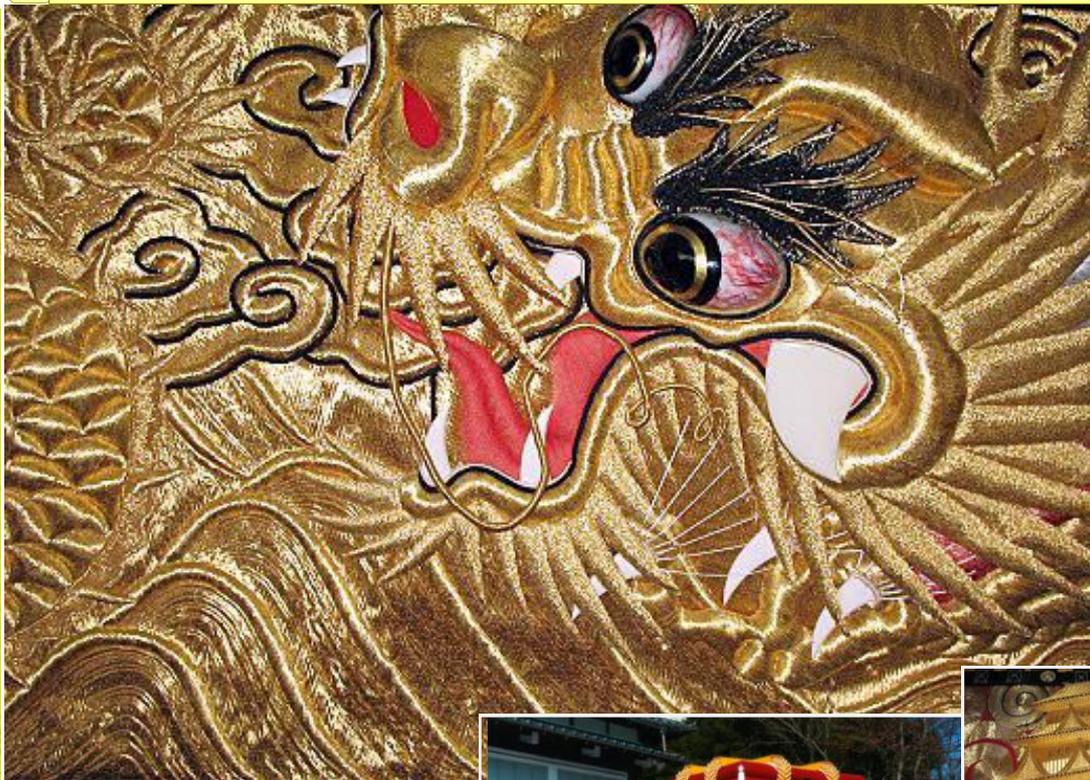
10月

## Discover AWAJI 伝統美見つけた。

VOL.209

もくじ P1 だんじりの伝統美 P2 しづおりの美 P3 祭りの伝統美 P4 人形浄瑠璃の美 P5 生間流式包丁の美  
P6 淡路文化会館・兵庫県淡路県民局・淡路島くにうみ協会からのお知らせ P7.8 淡路の文化活動・イベント情報

### 職人技が伝えるだんじりの伝統美



淡路島は古くから朝廷（都）に食物（御食料）を献上する国でした。海や大地からの自然の恵みに感謝する神事も数多くあり、その一つがだんじり祭です。

祭りを賑わせて、華となっているのは、多彩な「だんじり」。一番多い「布団だんじり」は、五段重ねの真赤な布団が特徴で、島内には約250基もあります。また、だんじりの元祖といわれる「舟だんじり」や「投げだんじり」、「曳きだんじり」などもあります。

この度、淡路市志筑の「梶内だんじり(株)」を訪ねてお話を伺いました。梶内だんじりは、祭りの華である屋合（太鼓台）を多くの職人さんたちにより一貫製作されている会社です。徳島生まれの初代梶内近一さんが大正9年に創業しました。近一さんは、祭りのときに見た美しいだんじりの刺繍物に憧れ、香川に修行に出ました。そして、年季が明けて、淡路の地で独立をしたのです。現会長の純治さんが3代目、現社長の博史さんが4代目へ、さらに5代目へと繋がっていくことになっています。刺繍物は特に手間がかかります。綿でできた土合（中味）に金糸を一針一針縫い付けていく手仕事なので、1枚の幕を完成させるのに半年から1年もかかります。15人いる職人さんのうち10人が刺繍物に関わっています。

製作している品目は、刺繍物に飾り幕、金綱（布団締め、胴締め）など、木工物では太鼓台、引きだんじり、



福井自治会だんじり新調記念  
平成27年3月吉日

神輿、屋合、彫り物など、祭礼小物では房、結び、提灯など多岐にわたっています。淡路島内だけではなく瀬戸内海沿岸を中心に新調、修理や復元などの注文もたくさん受けているということです。

だんじり祭りがしっかり根付いている淡路島。だんじり製作に関わる職人さんも定着していて、だんじりの伝統美の心や技はこれからも脈々と伝えられていくことでしょう。（応援隊：中田 浩嗣）

梶内だんじり株式会社 社長 梶内 博史  
＜本店＞淡路市志筑3105-2  
TEL 0799-62-0255 FAX0799-62-3450  
＜大阪支店＞大阪市天王寺区逢阪1-2-12  
TEL 06-6771-0208





# よみがえれ古代の布

「新しづおり」に挑戦 ~ 倭文小学校 ~



しづおり

「倭文」この漢字、読めますか？淡路の難読地名として目にすることができます。「シトオリ」と読みます。倭文とは、「しづ」という織物の名で、楮(こうぞ)、麻、苧(からむし)などの繊維で、その横糸を赤青の原色で染めて織ったもの。つまり横シマの楮(こうぞ)布、麻布、苧(からむし)布のこと。幻の布、古代の織物とよばれる「しづおり」が「しとおり」となまって現在に至ったとの事。

その倭文の地にある緑町立(現南あわじ市立)倭文小学校が「よみがえれ古代の布」と題して「倭文織り(しづおり)」に挑戦したのは平成元年の頃。先人の知恵に触れ、郷土への愛着を醸成するのがねらいでした。およそ30年たった令和元年に倭文小学校のしづおり体験活動取材させていただきました。

活動が始まった頃は、地域に自生する楮(こうぞ)を栽培することから始まり、糸を作り、草木染めをし、簡易織機で織物作品を作っていたそうです。

現在は、全校児童が、折り方の手順を知ることから、工夫して布を織るまでの活動を展開しています。作品は、介護施設や修学旅行時の外国語活動のプレゼントにしています。休み時間や放課後にも織機にむかい、コースターや、くるみボタン、ティッシュケースなどを作り、「松帆銅鐸イベント淡路島古代フェスティバル」では、展示、販売も行い、イベントでの売り上げ金は次の作品の材料を購入する資金にもなっているそうです。

永年の取り組みは、親子2代にわたる活動へと応がりを見せています。校舎のあちこちに展示されている織物作品や手作りの織機から、地域の伝統を大切にし、誇りを持って未来につないでいこうとする気持ちを感じ取れました。

(応援隊：村上 紀代美、坂本 厚子、川原 雅代)



子どもがはたを織る トントントン~♪



1年生の作品

子どもたちのしづおり作品

5年生の作品

倭文っ子はしづおりの天才



古代から伝わる

美



小型織り機

# 威勢のいい女性が大活躍 い わ や 石屋神社の秋祭り

Page 3 祭りの伝統美

淡路島の北の玄関口淡路市岩屋では石屋神社(いわやじんじや)の春祭り・秋祭りが、5月と9月の第二土曜日と日曜日に開催されます。岩屋の祭はだんじりに威勢のいい女性が載っている女祭として知られ、関西一円からカメラマンがやってきます。曳きだんじりと神輿が商店街各所を練り歩きます。子供たちも和服でそれぞれの町内会の踊りを披露しながら練り歩きます。石屋神社と八幡神社のだんじり宮入りのひっ込みがクライマックスになります。ほとぼる熱い思いとともに、どこか懐かしさも感じられます。

さあ、祭りを体感し、気分が晴れる一日を過ごしませんか？  
(応援隊:竹代 結)



# 美

室津は秋祭りが近づくと中高生の太鼓の練習が始まります。太鼓の音とともに地域の人たちの気持ちも高まり、老若男女日ごろの挨拶の後、秋祭りの話に花が咲き、自然と年齢の枠を超え、絆の輪が広がっていきます。室津には宮田組、西濱組、里組と3台の布団壇尻があり、宵宮、本宮と2日間かけて地区内を壇尻が練り歩きます。特に本宮では、八幡神社で初老(数え年41歳)の男性がお祓いを受け、参拝の皆さまにお餅をまいた後、神輿(みこし)を担ぎ、神主、巫女を先頭に、神輿、子ども神輿、壇尻3台が八幡神社から西にあるお旅所(通称まるやま)までの800mを巡行し、小高い山の頂上でお祓い、巫女舞、けやりなどを奉納します。



# ふるさとを守り育てる 室津八幡神社の秋祭り

薄暮の頃になってくると八幡神社下のお旅所で3台の布団壇尻に電飾を施し、暗闇の中を鮮やかに色づいた壇尻を多くの人で曳いたり、かついだりしてリズムも一つになり、「ヒーフーの、おしゃしゃの、しゃーんとこい！」と重い壇尻を掲げると、見物者から拍手喝さい！お旅所全体が1つになる時です。この醍醐味が忘れられず室津以外で暮らしている室津出身者も一つになり、毎年、盛大に祭りが営まれます。

現在は、小学校、保育所が統合されてなくなりましたが、以前は、秋祭りの後は子どもどうして力を合わせて「ヒーフーの、おしゃしゃのしゃーんとこい！」とかけ声をかけて物を運んだり、靴や上履きで太鼓のリズムをとりながら遊び、絵を描く時には、必ず布団壇尻を描いていました。誰も教えずとも、自分で見て、聞いて、感じて、協力することを覚え、絵を描く表現力も豊かになっています。これこそ、伝統を自然に受け継ぐ大切な力だと感じて、この大いなるやさしさに包まれたふるさとの伝統の力が後々まで続きますように大切に育てたいと思っています。  
(応援隊 廣岡ひろ子)



淡路島が世界に誇る伝統芸能『淡路人形浄瑠璃』。南あわじ市では2019年(今年から)市内全小中学校で淡路人形浄瑠璃を題材にしたカリキュラムが実施されています。市が保有している人形は、品質を保つために授業で使うには制限があります。そこで上田泰博さんは、教材として子どもが直接触って体感できる物が必要だと考えました。頭(かしら)の中の仕組みが見て解るように頭の上を開けた物、また友達から頂いた可愛い人形など、家に置いておくよりは学校で可愛がられる方が良いと思い、作者の許可を得て、自身の制作されたものも合わせて頭4点と手を2組寄付されました。

## 淡路人形浄瑠璃の伝統美に魅せられて



人形浄瑠璃の頭を寄贈  
南あわじ市 上田 泰博さん

# 美



上田さんは、退職されて2、3年が経ち、地域に貢献できる事をしたいと考えていた時に大鳴門橋記念館で人形浄瑠璃の伝統美に魅せられ、洲本市の淡路文化史料館で行われている人形の頭を作る講座に参加し始めました。その後、徳島のプロの元に通われた後も色々和努力を積み重ね、自身で工夫を凝らしました。

人形の頭の中の仕掛けは多いもので、眉毛、左右の目、眠り目、口の5か所が動きます。人形の仕掛けに使われているバネはクジラのひげですが、今では買う事が出来ないのです。和歌山県の「太地町立くじらの博物館」の学芸員さんに協力していただきクジラのひげを提供してもらったそうです。一本の木で作った頭部を前後にスパッと切り、中をくりぬいて眉や目、口の仕掛けを作り、面に和紙を貼り、まず下塗りで胡粉を6回塗ります。頭の髪の毛は一本ずつ糸に括り付けたものを銅板に打ち付け、頭の周囲に貼り付けて髪型をつくります。脚は木枠で型をとり胡粉を何度も塗り重ねます。その型がパズルの様にバラバラになる様子を見せてもらいました。手の指は、関節が円滑に動くように仕掛けが細やかな作りとなっています。このように手間暇のかかる人形づくりですが、地元の小中学生が伝統文化を学ぶ教材として活用する日を思い浮かべ、心を込めて制作されていました。

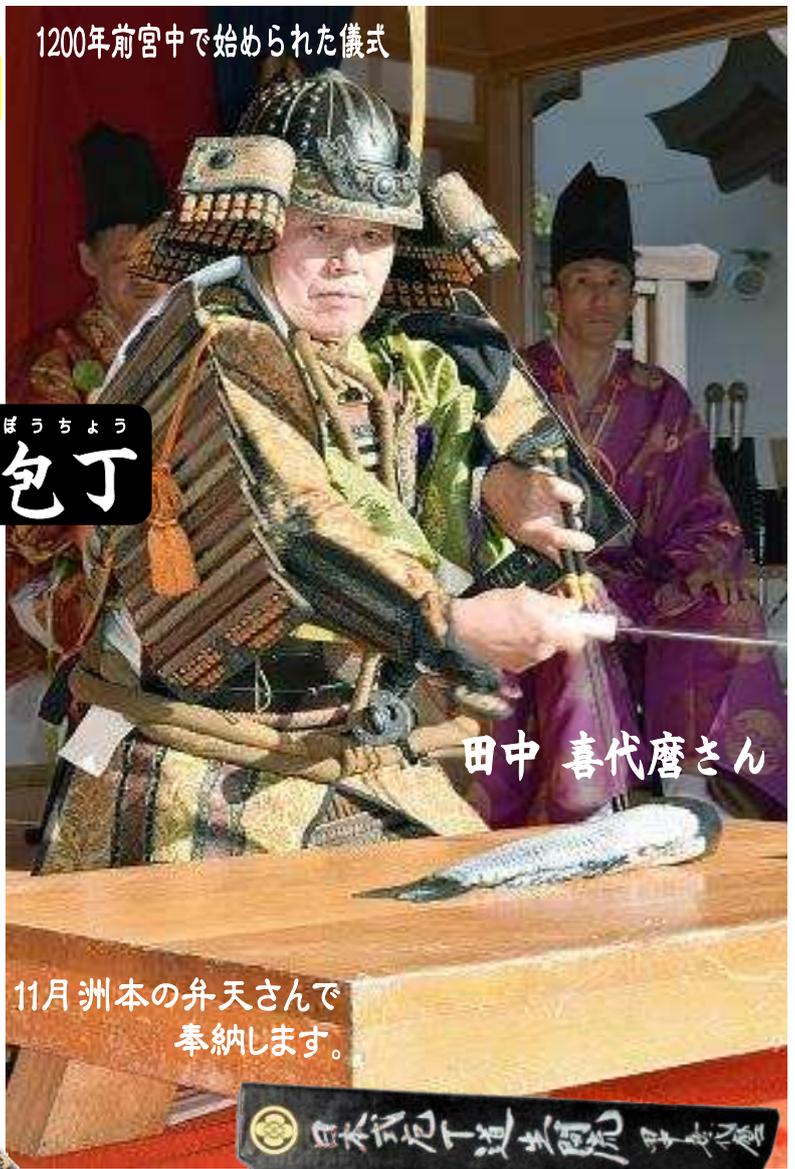
(応援隊：坂本 厚子、川原 雅代)



「式包丁」ってご存知ですか？

式包丁とは、平安中期(今から約1200年前)に宮中で始められた儀式で、まな板の上の魚や鳥に直接手を触れずに「刀包丁」と「まなばし」を使って料理し、めでたい形に盛るつける技です。その流儀には六つの流派があり、その一つに「生間(いかま)流式包丁」があります。

1200年前宮中で始められた儀式



田中 喜代磨さん

11月洲本の弁天さんで奉納します。

い か ま り ゅ う し き ぼ う ち ょ う  
平安中期から伝わる **生間流式包丁**

まな板の上の魚には手を触れずに「刀包丁」と「まなばし」で料理をします。



刀包丁  
まなばし

この生間流式包丁を45年前に習い始め、現在も淡路支部長としてご活躍されている洲本市にお住いの田中喜代磨さんに、式包丁についてお話を伺ってきました。

田中さんは15才の時に板前の世界に入り、流行歌にある「包丁1本さらしに巻いて～」というように各地で修業を重ねたそうです。そして淡路島のホテルに移ってきて料理長をされていました。現在は料理長を引退し、生間流式包丁を継承するとともに後継者の指導もされています。

淡路島でこの「生間流式包丁之儀」を見られるのは、11月の厳島神社(洲本市本町、通称弁天さん)の大祭りと4月の伊弉諾神宮(淡路市多賀)の大祭りだけです。

甲冑姿や烏帽子、袴姿で生間流に伝わる作法のとおり、まな板の上の鯛や鯉には手を触れずに「刀包丁」と「まなばし」を使って料理をします。

私も数年前に厳島神社でこの式包丁を拝見しましたが、厳かな中にも素晴らしい包丁さばきだったことが記憶に残っています。

(応援隊: 田処 巻久)



美しく料理された魚



写真提供: 田中 喜代磨さん





## 淡路文化会館からのお知らせ

人形浄瑠璃街道推進事業

### 淡路島民俗芸能フェスティバル

日時 **10月27日(日) 13:00~16:30**

場所 南あわじ市中央公民館

淡路島内各地に受け継がれている伝統芸能や郷土芸能、淡路島をテーマとした新興・創作芸能をお楽しみください!

出演団体

- ・南あわじ市立阿万保育所さくら組
- ・鮎原上祭礼団
- ・輝く淡路市を広める会
- ・福良さかな節保存会
- ・ピリーレイブア・クミコ・フラスクール
- ・一宮小唄保存会
- ・福井子供会人形浄瑠璃部
- ・東浦音頭保存会
- ・寺内祇園囃子保存会
- ・舞女流華連
- ・阿万風流踊保存会

## 淡路島のまち・地域づくり活動を応援する『プラットフォーム淡路島』からのお知らせ

### みんなで考える移住者と地域の繋がり

我々の身近で大きな問題「人口減少」、何もせず10年たったとき自分の地域がどうなっているか考えたことがありますか?この大きな問題に対する取組みの一つが『島外からの移住者の受け入れ』です。

しかし・・・

- 受け入れる地域住民としては
    - \*地域に昔からあるルールを守ってくれるの?
    - \*いったいどんな人がくるの?
  - 移住者としては
    - \*地域に昔からあるルールってどうやったらわかるの?
    - \*地域に馴染みたいけどどうすればいいんだろう?
- なんてことを思ってませんか?こんな思いを前に進めるには、お互いがお互いを知っていくことが重要です!今回、移住者の方を招いて、移住についての「生の声」を聞く講演会を開催します。これをきっかけに『移住者と地域の繋がり』を考え、思いを前に進めてみませんか?

考えよう!ちょっと話を聞いてみたい!と思ったら下記【お申し込み・問い合わせ先】までご連絡ください。

日時:令和元年11月1日(金)13:00~16:00

会場:「そばカフェ生田村」淡路市生田畑152

その他:参加者数40名程度、参加費無料

【お申し込み・問い合わせ先】

事務局:淡路県民局県民交流室県民・商工労政課内

TEL/0799-26-2046 FAX/0799-24-6934

メール/awajikem@pref.hyogo.lg.jp

## 兵庫県淡路県民局からのお知らせ

### 消費者力アップリレーセミナー

— 受講生募集 —

消費者力(理解・選択・行動できる力)を高め、安全・安心な生活を送るため、下記のセミナーを開催します。是非、ご参加ください。

回	テーマ	会場	日程
1	「年金について」	淡路市役所	10月11日(金)
2	「消費税」について	洲本総合庁舎	11月18日(月)
3	「ふるしき活用術」	南あわじ市役所	12月16日(月)
4	「スマホやネットに潜む危険」	洲本総合庁舎	2月12日(水)

※詳しくは下記までお問い合わせください。

●時間・・・13:30~15:30  
(第4回のみ10:00~12:00)

●参加費・・・無料

●定員・・・各40名(先着順)

●申込み切・・・各開講日の一週間前まで

●申込先・・・兵庫県淡路県民局県民交流室  
県民・商工労政課(消費者センター)

TEL 0799-26-3360 FAX 0799-24-6934

兵庫県淡路県民局県民交流室  
県民・商工労政課(消費者センター)  
☎ 0799-26-3360 FAX 0799-24-6934  
(土日祝日・年末年始は除く)

## (一財)淡路島くにうみ協会からのお知らせ

### 令和元年度 第3回淡路島くにうみ講座

お天気キャスター蓬萊大介さんと学ぶ

「天気予報の見方と自然災害への備え」

■講師 蓬萊大介氏(気象予報士・防災士)

■内容

読売テレビお天気キャスターとしても活躍中の蓬萊大介氏に、天気予報の見方、ゲリラ豪雨や台風、地震への備えや対処などについてお話しいただきます。

■日時 10月19日(土)14時~15時30分

■場所 淡路夢舞台国際会議場  
(淡路市夢舞台1番地)

■定員 300名(無料)

※事前申込必要。締切10月17日(木)

申込・問い合わせ

(一財)淡路島くにうみ協会 事業課

Tel: 0799-24-2001 Fax: 0799-25-2521

Eメール: awajishima@kuniumi.or.jp

URL: http://www.kuniumi.or.jp



◆淡路市立しづかホール

〒656-2132淡路市志筑新島5-4  
☎0799-62-2001 ☎0799-62-6465  
Mail : info@shizukahall.com  
休 火曜休館

神楽教室



自分の体を自分で撫でたり、ツボを押すなど、体の声を聞きながら心までほぐれていく『神楽教室』。興味のある方は、是非、体験してみてください。

講師：表 博耀(オモテ ヒロアキ)  
日本国エンターテイメント観光大使  
創生神楽宗家

日 10月24日(土) 時 19:00~21:00  
場 リハーサル室  
¥1,500円(月1回) ※初回体験500円  
※軽い体操のできる服装(ストレッチ・神楽所作など)でお越し下さい。

JAZZ DANCE 教室



子どもから大人まで、初心者でも大歓迎です。一緒に楽しくDANCEしましょう。

日 10月11日(金)・25日(金)・11月8日(金)  
キッズ(~小学生)17:00~18:30  
フリー(中学生~)19:00~20:30  
場 リハーサル室  
¥キッズ3,150円(月3回)  
フリー3,300円(月3回)or都度払い1,200円  
用 問 しづかホール

Awaji Art Circus 2019

今年で5周年を迎えるAwaji Art Circus! 厳選された、12ヶ国12組22名の海外アーティストを淡路島に集め、地域と融合し、地域を元気にする数多くのアートパフォーマンスをお届けします!

ぜひ会場を巡ってアーティストのパフォーマンスを鑑賞しながら、淡路島のグルメ、絶景、温泉に心満たされる、充実したアート旅をお楽しみください!

日 9月28日(土)~10月27日(日) 時 12:00~14:00 ※火・水・木は休み/非公開プログラム 場 淡路島内各所  
¥無料  
※詳しくはHPをご覧ください。  
問 Awaji Art Circus実行委員会事務局  
☎050-3684-4245  
HP:https://awajiartcircus.com/

◆淡路人形座 10月公演

〒656-0501 南あわじ市福良甲1528-1地先  
☎0799-52-0260 ☎0799-52-3072

福を授けます「戎舞」  
娘の一途な愛  
「火の見櫓」

定時公演

日 詳しい日程はお問い合わせください。  
時 10:00、11:10、13:30、15:00  
休 毎週水曜日

①「戎舞」・「人形解説」・「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」

¥大人1,800円 中高生1,300円  
小学生1,000円 幼児300円

②「人形解説」・「戎舞」

¥大人1,200円 中高生800円  
小学生600円 幼児200円

③「人形解説」・「バックステージ」

¥大人500円 中高生400円  
小学生300円 幼児100円

※上演内容は変更になる場合があります。ご了承ください。

【淡路人形まつり特別企画】  
アートサーカス

Awaji Art Circus 2019が淡路人形座に出演!

世界中のアーティストが淡路島に集結してパフォーマンスを披露するAwaji Art Circusのアーティストのうち4組が人形座のステージへ初出演!

人形座の伝統的な環境と国際的なパフォーマンスの融合をお楽しみください。淡路人形座の定時公演(11:10、15:00)終演後、舞台上にて上演いたします。

日 10月6日(土) 時 11:40~15:30~  
¥入場無料

※アートサーカスのみの入場も出来ます。

【入場料金改定のお知らせ】

10月1日から入場料金を下記のように変更させていただきます。

	〔改定前〕	〔改定後〕
大人	1,500円	→ 1,800円
中高生	1,300円	→ 1,300円
小学生	1,000円	→ 1,000円
幼児	300円	→ 300円

◆淡路島国営明石海峡公園

〒656-2306 淡路市夢舞台8-10  
☎0799-72-2000 ☎0799-72-2100

秋のカーニバル

日 9月14日(土)~11月4日(日) 場 園内各所  
¥別途入園料、駐車料金必要

コスモスのつみとり体験

日 10月19日(土)・20日(日)  
時 13:30~15:30 場 園内 大地の虹ほか  
¥参加料無料(別途入園料、駐車料金必要)

※無料入園日

日 10月27日(日) ¥入園無料(別途駐車料金必要)

◆洲本市民交流センター

〒656-0054 洲本市宇原1788-1  
☎0799-24-4450 ☎0799-24-4452

洲本フォトサークル第52回写真展

会員の1年間の活動の成果を発表します。

日 10月1日(火)~10月25日(金)  
時 9:00~21:00  
(最終日は16:00まで) 休 月曜休館  
会 アールギャラリー ¥観覧無料

◆淡路市立サンシャインホール

〒656-2305 淡路市浦148-1  
☎0799-74-0250 ☎0799-74-0256  
時 10:00~18:30

休 木曜日/祝日の翌日(祝日翌日が土日または祝日の場合、その祝日以降最も近い平日)

ふだんぎロビーコンサート

毎月開催♪未就学児も入場可能なコンサート!今回はジブリ特集!

日 10月13日(日) 時 14:00~14:40  
¥観覧無料

第25回ひがしうら寄席

《出演者》  
桂 九雀・桂 阿か枝  
林家 染吉・月亭 秀都  
日 10月20日(日) 時 開演14:00  
(開場13:30)  
¥(前売)一般1,000円、高校生以下・  
障害者手帳保持者・70歳以上500円  
(当日)一般1,200円、高校生以下・  
障害者手帳保持者・70歳以上700円

# インフォメーション



## ◆淡路文化会館

所 〒656-1521 淡路市多賀600  
 ☎0799-85-1391 ☎0799-85-0400  
 時 9:00～17:00 観覧無料

### 兵庫県学ば高齢者のつどい 淡路ブロック大会作品展

兵庫県学ば高齢者のつどい淡路ブ  
 ロック大会参加者の作品展

日 10月10日(木)～10月16日(水)  
 会 美術展示室・県民ギャラリー

### 2019兵庫県文化賞 受賞者小作品展

兵庫県文化賞受賞者による色紙及  
 び小作品の展示。洋画、日本画、  
 書、陶芸、彫刻など、各分野の受  
 賞者の作品を一堂に展示します。  
 作品は、入札により購入すること  
 ができ、その収益の一部は、芸術  
 文化の振興と普及を図る活動を支  
 援するために寄付されます。

日 10月18日(金)～10月22日(火)  
 会 美術展示室

### 淡路島からあなたに贈る 令和元年の応援歌 絵手紙展

絵手紙は、届いた家族や友人など  
 たくさんの方を笑顔にします。絵  
 手紙を出した自身にも、元気や生  
 きがいを与えてくれます。手書き  
 を必要としなくなった世の中に、  
 絵手紙の力をPRしたい。

日 10月18日(金)～10月30日(水)  
 会 県民ギャラリー

## ◆洲本市文化体育館

所 656-0021 洲本市塩屋1-1-17  
 ☎0799-25-3321 ☎0799-25-3325

### 三美会 日本画 洲本展

淡路文化会館日本画セミナー受講  
 生の作品展

日 10月5日(土)～10月7日(月)  
 時 10:00～17:00 (最終日～16:00)  
 会 会議室1A 観覧無料

### 第72回洲本市美術展

日本画・洋画(版画)・書・彫塑・工  
 芸・写真の6部門を対象とした公募展

日 10月31日(木)～11月4日(月)  
 時 9:00～18:00 (最終日～16:00)  
 会 会議室1A・2C 観覧無料

## ◆兵庫県立淡路医療センター

所 656-0021 洲本市塩屋1-1-137  
 ☎0799-22-1200 ☎0799-24-5704



### あわじ認知症ケア市民公開講座

日 11月2日(土) 時 14:00～16:00(開場  
 13:30) 会 2F大会議室 観覧無料  
 ☎0799-22-1200(代)  
 内線272 (担当: 谷口・下村)

## ◆兵庫県立淡路夢舞台温室 「奇跡の星の植物館」

所 〒656-2306 淡路市夢舞台4  
 ☎0799-74-1200 ☎0799-74-1201  
 時 10:00～18:00 (最終入館は閉館の  
 30分前まで)

### 特別展あわじガーデン ルネサンス2019

日 10月5日(土)～11月17日(日)  
 観 大人1,500円、70歳以上750円、  
 高校生以下無料

### オープニングイベント ★子どもミュージカル

出演: ミラクルメイツ  
 日 10月5日(土) 時 10:00～、13:00  
 観 観覧無料、ただし入館料要

### これぞ花育! 伝統園芸KIDS展

日 10月26日(土)～  
 観 大人1,500円、70歳以上750円、  
 高校生以下無料

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取  
 材や編集がされ、月に3,500部発行してい  
 ます。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業  
 施設など約250ヶ所に無料配布しています。  
 今後も生活情報新聞として、豊かな情報をお  
 届けしたいと思っておりますので、ご愛読よろしく  
 お願いします。また、読者の皆さまからのお  
 便り、情報をお待ちしています。

なお、バックナンバーを淡路文化会館の  
 ホームページに掲載していますので、こちら  
 も是非ご覧ください。

(発行)淡路生活創造応援隊 淡路文化会館  
 淡路文化会館運営協議会

〒656-1521 淡路市多賀600  
 ☎0799-85-1391 ☎0799-85-0400

E-mail : a-pocket@hyogo-ikigai.or.jp  
 HP : <https://www.awaji-bunkakaikan.jp/>

## 編集だより

うららかな秋晴れ続きに、食欲の秋、スポーツの秋、もちろん勉強の秋と良い季節が巡って来ましたね!10月20日(日)は第35回淡路国生みマラソン全国大会が開催されます。毎回2,000人位の人達が全国津々浦々から参加されています。沿道での声援はランナーにとってスーゴク励みになり、頑張るチカラが注入されますので、是非、声掛けの程宜しくをお願いします。

10月26日(土)午前10時～12時には、『めざそう!渦潮の世界遺産登録』の一環として南あわじ市阿那賀伊弉海岸、洲本市由良生石海岸、淡路市岩屋田ノ代海岸で「鳴門・紀淡・明石」の3海峡クリーンアップ大作戦が展開されます。鳴門海峡の渦潮は、地球最上級の自然現象であり、類まれな自然美です。渦潮を取り巻く海岸環境美化に参加しましょう。

《応援隊: 岡 まさよ》

## 私たちはポケットあわじを応援します。

